

2018年10月1日

報道関係各位

東京建物株式会社

「これからの時代の新しい暮らしの創出」を目指す
『Brillia ART AWARD 2019』募集開始
～2700×1700×2785の空間を活かすアートを募集～

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：野村 均）は2018年の第1回に続き、2019年も『Brillia ART AWARD 2019』を開催し、10月1日より作品プランの応募受付を開始します。入選作品は、東京建物八重洲ビル1階のBrillia Lounge内にある「THE GALLERY」で各作品につき3ヶ月、計1年間展示を行い、2019年末に大賞を選出します。

なお、第1回は国内外から多数の応募があり、審査の結果4名の入選アーティストを選出しました。



Brillia
ART AWARD 2019



■ 『Brillia ART AWARD』のはじまり

東京建物のマンションブランド「Brillia」が主催するアートアワードです。「NEW LUXURY＝得がたい心地よさ」を新たなブランドコンセプトに掲げる「Brillia」は、住空間における本質的な暮らしの豊かさを追求していく中で、アートを暮らしに取り入れることが、住まう人の心を豊かにすることができる1つの重要な手段であると考えています。「Brillia」は、建物としての住まいを提供するだけでなく、そこに住まう人の感性や心の豊かさに焦点を当てた暮らしの提案をしていきたいという想いから、本アワードを開催するに至りました。

■『Brillia ART AWARD』が望むこと

私たちの住む社会では、「豊かな暮らし」という価値観は時代と共に移り変わっていきます。これからの時代の豊かさの価値とは何かを考えるため、Brillia は本アワードを通じて、その気づきをもたらしてくれるアート作品を「THE GALLERY」で紹介します。Brilliaに住もう人、東京建物を訪れる人や通りを行き交う様々な人々が作品の世界に触れ、新たな発見を見出すことでしょう。また、同時にこの機会は、作品を創り出す新進アーティストのステップアップの場となることも目的としています。アーティストの創作活動を支えながら、社会や暮らしの中におけるアートの重要性をより多くの人々に伝えていきたい、と願っています。

■新進アーティストからジャンルを問わない作品プランを募集

高さ 2700mm、幅 1700mm、奥行き 2785mm の限られた空間を最大限に活かし、「これからの時代の新しい暮らし」を体現するジャンルを問わないアート作品プランを募集します。空間という舞台だけが提供される中で、より自由で斬新なアイデアの応募を期待します。

■アート及び居住者の視点から審査

審査員には、小山登美夫ギャラリー代表小山登美夫氏、アートプロデューサー／大阪電気通信大学教授 原久子氏、公益財団法人 彫刻の森文化財団 坂本浩章氏らアートに携わるプロフェッショナルとともに、東京建物にて「Brillia」に携わる、柴山久雄 代表取締役専務執行役員 住宅事業本部長、遠藤崇 住宅事業企画部 CRM 室室長、萬由衣 住宅事業企画部 CRM 室 (Brillia ART AWARD 担当) が、住空間のプロフェッショナルとして審査に参加します。

■審査員/応募者へのコメント (敬称略、順不同)

小山 登美夫 (小山登美夫ギャラリー代表)

空間に新しい感覚を作り出す。———こんなチャレンジで、昨年もこちらの想像を超えたアイデアの作品が出て来て、驚きました。ひとつの空間に作品が来ることによって、街が変わる。アートというか、表現の一つのメッセージがそこで拡がっていきます。

自分と社会、作品と空間。作品がそこに置かれることによって、世界全部を変えてしまうという意欲でもって臨んでもらうと嬉しいです。

原 久子 (アートプロデューサー／大阪電気通信大学教授)

ガラスの向こうには現実世界が広がり、さまざまなノイズに溢れています。そんな都市の様相に負けることなく強く響く個性的な表現には、一筋の光が当たるように注目が集まるでしょう。メッセージが道行く人にも聞こえてくるような作品に出逢えることを期待しています。

坂本 浩章 (公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団)

都会の空間に日常とアートが起こす化学反応によって、無意識に繰返される日常生活に、あらたな刺激と驚きや潤いをもたらす。そのようなアートが持つ個性的な力を表現して、変わり続ける都市空間と動き続ける人の流れに、既成概念にとらわれない無限の可能性を提案して欲しいと思います。

東京建物株式会社 住宅事業企画部 CRM 室 (Brillia ART AWARD 担当)

新進気鋭のアーティストを応援したいという想いで本アワードを創設させていただき、今年で2年目を迎えました。「暮らしを豊かにする」という観点においては、アートも住まいも同様です。

街を行き交う人々に、日常を超えた体験を提供できる、そんな素晴らしい作品の企画をお待ちしております。

■ 『Brillia ART AWARD 2019』 概要

- ・ 事業名称 / Brillia ART AWARD 2019
- ・ 作品募集期間 / 2018 年 10 月 1 日 (月) ~ 10 月 22 日 (月)
- ・ 賞 / Brillia ART AWARD 2019 大賞 1 組 (※入選者 4 組のうちより選出) -賞金 30 万円
入選 4 組-制作補助金 20 万円
- ・ 審査発表 / 2018 年 11 月中旬
- ・ 作品展示期間 / ①2019 年 1 月下旬~4 月 ②5 月~7 月 ③8 月~10 月 ④11 月~2020 年 1 月中旬
※約 3 ヶ月ごとに展示を入れ替え、詳細日程、順序は協議のうえ決定
※大賞は上記入選者の中から選出し、2019 年 12 月に発表予定
- ・ 会場 / 東京建物八重洲ビル 1 階 Brillia Lounge 内「THE GALLERY」
- ・ 主催 / 東京建物株式会社
- ・ 運営協力 / 公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団
- ・ 運営 / 株式会社 Quaras
- ・ URL / <https://www.brillia.com/artaward>
- ・ 応募書類郵送先 / 〒108-0075
東京都港区港南 2-16-8 ストーリア品川 22F03 室
有限会社グローバルネットワーク 「Brillia ART AWARD 2019」 運営事務局 宛

■ 『Brillia ART AWARD 2018』 の入選者

『What?』 : 塩見真由 / Mayu Shiomi

『東の女神』 : 堀口泰代 / Yasuyo Horiguchi

『Familiar』 : 藤江竜太郎 / Ryutaro Fujie

未定 (2018 年 10 月末発表予定) : 管拓也 / Takuya Suga

※大賞は上記入選者の中から選出し、2018 年 12 月に発表予定。

■ 『Brillia ART AWARD 2018』 の審査員 (肩書きは 2017 年時のもの)

小山登美夫 (小山登美夫ギャラリー 代表/明治大学国際日本学部特任准教授)

中尾英恵 (小山市立車屋美術館 学芸員)

坂本浩章 (公益財団法人 彫刻の森芸術文化財団)

柴山久雄 (東京建物株式会社 代表取締役専務執行役員 住宅事業本部長)

遠藤 崇 (同 住宅事業企画部 CRM 室室長)

萬 由衣 (同 住宅事業企画部 CRM 室 (Brillia ART AWARD 担当))

<本件に関する問い合わせ先>

Brillia ART AWARD 2019 運営事務局

MAIL : brilliaart@globaln.co.jp